



仙台発、バリアフリーのまちづくり情報誌

誰でも自由に安全に行動しやすいまち
誰にとってもやさしく利用しやすいまち
誰もが共に助け合い、理解しあって生活するまち
誰もがひとを思いやる心を大切にするまち

第25号

★ 令和元年度の協議会活動 ★

「まち歩き・ワークショップ」に参加しました。

令和元年10月24日（木）に仙台市バリアフリー推進協議会（※）主催による「まち歩きワークショップ」が行われました。今回の「まち歩き」は、「仙台市バリアフリー基本構想地区別構想（都心地区）」におけるバリアフリーに関する整備効果の検証と、課題等の把握を目的として開催されました。

参加者は、高齢の方、視覚、聴覚、肢体不自由等の身体障害のある方に加えて、知的障害と精神障害の関係団体及び仙台市バリアフリー推進協議会幹事会の構成員の方々でした。

まず午前「仙台駅周辺」と「青葉通一番町駅周辺」の2つのグループに分かれてまち歩きを行い、特定事業計画に基づく整備状況等について、支障なく「特定旅客施設（駅）内の移動」や「生活関連施設相互の移動」が円滑にできるかどうか、整備箇所の良い点などを確認しました。「仙台駅周辺」グループは、「地下鉄南北線仙台駅→JR仙台駅東西自由通路→地下鉄東西線仙台駅」のルート、「青葉通一番町駅周辺」グループは、「地下鉄東西線青葉通一番町駅→青葉通」のルートを歩きました。確認する項目は、たとえば、エレベーター等による上下移動が円滑に行えるか、案内板や誘導ブロックにより改札や券売機まで円滑に移動できるか、などです。

午後はグループごとにワークショップ形式で、午前の「まち歩き」の結果をもとに相互に意見交換を行いました。移動のしやすさや安全性、利便性などが向上していると評価されました。（意見は次のページ）



まち歩きの様子



ワークショップの様子

※バリアフリー推進協議会とは、バリアフリー基本構想の作成及び推進に加え、移動等円滑化の促進に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的として、仙台市が設置している協議会です。

《まち歩きワークショップにおける意見（抜粋）》

①仙台駅周辺

- ・券売機は音声案内があり、わかりやすく良い。
- ・エレベーターがガラス張りのため、事故発生等の緊急時でも 外部から内部が見えて良い。
- ・誘導ブロックの両縁の色を変えることで明度の差を大きくしており移動しやすい

②青葉通一番町駅周辺

- ・バス停について、上屋があり休みやすく、側面看板は自転車よけにも有効である。
- ・エレベーターは広くて使いやすく良い。
- ・平らで広い歩道であり、段差もなく、歩きやすい。

③その他

- ・タッチパネル式券売機は、発売機メーカー間の共通仕様で製造されているものの、視覚障害者にとって払い戻しボタンがタッチパネル内にあるため分かりづらい。
- ・バリアフリー化の整備を行っても、一般車両がバス停の前後に駐停車することにより利用しにくくなることがあるため、ルール・モラルの啓発等、心のバリアフリーを推進していく必要がある。

若林区民ふるさと祭りに参加してきました

心のバリアフリーに関する周知啓発活動として、令和元年度は、11月4日に若林区役所特設会場で開催された第31回若林区民ふるさと祭りに出店し、バリアフリークイズやパネル展示、啓発用クリアファイルの配布などを行って、市民への啓発活動を行いました。

晴天にも恵まれ、前年度を大きく上回る800名以上のお客様にお越しいただき、親子連れ、学生、高齢者など様々な方に、心のバリアフリーについて知っていただく良い機会となりました。



出店ブースにはおいでいただけなかった市民の方々にも、ポケットティッシュの配布による心のバリアフリーの啓発を行いました。

また、区民祭り出店の他、心のバリアフリー啓発ポスターについて市営地下鉄・市営バス等への掲示や、推進協議会加盟団体の皆様や市内の市立小・中・高等学校への配布を通じて、周知啓発を行いました。

共生社会ホストタウンの取り組みについて

仙台市は、内閣官房が推進する「ホストタウン構想※」に基づき、イタリア共和国のホストタウンとして登録されていますが、令和元年8月に「共生社会ホストタウン」としても登録されました。

「共生社会ホストタウン」とはパラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取組を推進するホストタウンのことで、「心のバリアフリー又はユニバーサルデザインの街づくりの取組の継続的・加速的な実施」や「東京大会の事後交流も含めた幅広い形での相手国・地域のパラリンピアンと市民との交流」を行うものです。

仙台市では、令和元年度に仙台市陸上競技場の段差解消やトイレ・シャワーのバリアフリー化工事を実施したほか、ホテルの客室バリアフリー化の推進のためにひとにやさしいまちづくり条例に基づく整備基準の改正を行いました。

今後は、慶長遣欧使節の派遣以来続くイタリアとの長年の友好の歴史を基に、イタリアのパラ競技複数種目の事前合宿受け入れや、学校訪問・競技体験会、パラスポーツに取り組む市民や子供たちを対象とする交流・指導など様々な取り組みを計画しています。

東京2020大会が障害や多文化に対する理解の促進、そして復興支援への感謝や仙台・東北の魅力の世界に向けた発信の機会になるように、準備を進めています。



※「ホストタウン構想」

東京2020大会の開催を契機として、大会参加国・地域と地方自治体との間における人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進することを目的に政府が推進する構想です。(担当：内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック推進本部)

仙台市は、イタリア共和国の「ホストタウン」、「復興ありがとうホストタウン」として登録されており、令和元年8月に「共生社会ホストタウン」としても登録されました。

ひとにやさしいまちづくり推進協議会

ひとにやさしいまちづくり推進協議会は、障害のある方やご高齢の方、お子様連れの方を含めた全ての方が、建築物や道路、公園などのさまざまな施設を円滑に利用できるよう、バリアフリー整備の普及・推進を目的として平成9年に発足した、仙台市内の福祉・教育・建築・商業・マスコミ関係などの71団体が加盟する協議会です。

誰もがともに助け合い、心のバリアフリーを実践してもらえるよう、バリアフリー設備の点検活動や、イベントなどでの「バリアフリークイズ」の実施、「ひろびろトイレマーク」の普及活動など、バリアフリー推進のための啓発活動を行っています。

ひろびろトイレとは？



ひとにやさしいまちづくり推進協議会では、車いすを使用している方や子ども連れの方など、どなたでも使いやすいトイレのことを「ひろびろトイレ」と呼んでいます。このマークが目印です。

「ひとにやさしいまちづくり推進協議会」は、次の71団体が加入し
～誰もが住みよく、使いやすいまちづくり～ に取り組んでいます。

- ◆仙台市連合町内会長会◆(公社)仙台市老人クラブ連合会◆仙台中央・仙台南・仙台東の各地区交通安全協会
- ◆(特非)仙台・みやぎ消費者支援ネット◆(公社)仙台青年会議所◆(株)河北新報社◆(株)読売新聞東北総局
- ◆(株)時事通信社仙台支社◆日本放送協会仙台放送局◆(株)仙台放送◆(株)宮城テレビ放送◆(公社)土木学会東北支部◆(一社)日本建築学会東北支部◆仙台市子ども会育成会連合会◆仙台市PTA協議会◆宮城県私立中学高等学校連合会◆仙台市私立幼稚園PTA連合会◆(一社)仙台市医師会◆(一社)仙台歯科医師会◆(一社)宮城県理学療法士会◆(公社)宮城県看護協会◆(一社)宮城県作業療法士会◆(社福)仙台市障害者福祉協会◆(社福)仙台市社会福祉協議会◆仙台市知的障害者関係団体連絡協議会◆仙台市民生委員児童委員協議会◆仙台市ボランティア連絡協議会◆C I L たすけっと◆日本労働組合総連合会宮城県連合会◆仙台商工会議所◆宮城県中小企業団体中央会◆みやぎ仙台商工会◆(一社)仙台建設業協会◆(一社)宮城県建築士会仙台支部◆(一社)宮城県建築士事務所協会◆(公社)日本建築家協会東北支部◆(一社)宮城県銀行協会◆日本チェーンストア協会東北支部◆東日本電信電話(株)宮城支店◆宮城県百貨店協会◆宮城県理容生活衛生同業組合◆宮城県美容業生活衛生同業組合◆協同組合日専連仙台◆荒町・一番町一番街・一番町四丁目・おおまち・クリスロード・サンカトゥール・サンモール一番町・仙台駅前・名掛丁・長町駅前・本町・宮町・長町一丁目・なかやまの各商店街振興組合◆三神峯はあとふる商店会◆(一社)宮城県タクシー協会仙台地区総支部◆(公社)宮城県バス協会◆東日本旅客鉄道(株)仙台支社◆(特非)仙台バリアフリーツアースセンター◆仙台ビルディング協会◆(一社)日本エレベーター協会東北支部◆(公社)日本オストミー協会仙台市支部◆みやぎ生活協同組合◆宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合◆宮城県クリーニング生活衛生同業組合◆宮城県行政書士会

<編集・発行> ひとにやさしいまちづくり推進協議会

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7-1

☎022-214-8158 (仙台市健康福祉局社会課内)

ひとにやさしいまちづくり推進協議会ホームページ

ひとやさ

検索

<http://www.city.sendai.jp/chikifukushi/kurashi/kenkotofukushi/shogai/kyose/barrier-free/suishin.html>